

平成17年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成17年1月21日

上場会社名 株式会社アトム
コード番号 7412

上場取引所 東名
本社所在都道府県 愛知県

(URL <http://www.atom-corp.co.jp/ja/index.html>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 佐々木 正時

問合せ先責任者 役職名 専務取締役 氏名 野原 滋公

T E L (052)702-7500

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
における認識の方法との相違の有無

2. 平成17年3月期第3四半期業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 売上高

(百万円未満切捨)

| | 売上高 (対前年同四半期増減率) | |
|-------------|------------------|-------|
| | 百万円 | % |
| 17年3月期第3四半期 | 20,331 | (4.7) |
| 16年3月期第3四半期 | 21,342 | (-) |
| (参考)16年3月期 | 28,223 | (-) |

(注) 売上高は、当該四半期までの累計値であります。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におきましては、個人消費は依然として低迷を続ける一方、競合他社の出店、コンビニエンスストアを始めとした中食産業市場の拡大により、競争は激化しており、経営環境は非常に厳しさを増しております。また、度重なる台風のの上陸などの天候不順により、販売環境は非常に厳しいものとなりました。

このような状況の中、当社は、新規出店として、すし部門9店舗（「海鮮アトムボーイ」FC店1店舗、「廻転寿司アトムボーイ」直営店5店舗、「にぎりの徳兵衛」直営店3店舗）の出店を行いました。

業態変更につきましては、すし部門は直営店5店舗（「アトムボーイ」から「海鮮アトムボーイ」へ2店舗、「海鮮アトムボーイ」から「にぎりの徳兵衛」へ3店舗）、FC店1店舗（「海鮮アトムボーイ」から「にぎりの徳兵衛」）の合計6店舗、レストラン部門は直営店1店舗（「韓の食卓」から「かつ時」）を行いました。

FC店との店舗異動は、FC店から直営店への異動が4店舗（「海鮮アトムボーイ」1店舗、「廻転寿司アトムボーイ」2店舗、「海鮮アトムボーイ」から「にぎりの徳兵衛」1店舗）ありました。

閉店は、すし部門で直営店3店舗（「海鮮アトムボーイ」2店舗、「廻転寿司アトムボーイ」1店舗）、FC店9店舗（「アトムボーイ」2店舗、「海鮮アトムボーイ」3店舗、「廻転寿司アトムボーイ」2店舗、「すし王」2店舗）、レストラン部門で直営店10店舗（「カルビ大将」1店舗、「唐楽家」3店舗、「ザ・フォーロン」3店舗、「かつ時」1店舗、「万豚麺」2店舗）、FC店3店舗（「えちぜん」2店舗、「韓の食卓」1店舗）の合計25店舗を行いました。

その結果、当第3四半期末の店舗数は、すし部門では直営店85店舗、FC店47店舗の合計132店舗、レストラン部門では直営店124店舗、FC店19店舗の合計143店舗、両部門あわせて直営店209店舗、FC店66店舗の合計275店舗となりました。

売上高については、すし部門は79億83百万円（前年同期比3.9%増）、レストラン部門は114億54百万円（前年同期比9.4%減）、食材部門は7億24百万円（前年同期比13.7%減）、ロイヤリティー・加盟金などの「その他」として1億69百万円（前年同期比7.8%減）となり、売上高合計で203億31百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

[参考] 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

平成16年11月22日公表の「平成17年3月期の連結業績予想」からの変更はございません。

なお、計画達成に向け鋭意努力をいたす所存ではありますが、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上